

PORTNER

SHIP

Vol.10

2007 年初夏号

御挨拶

今号より、本誌の製作と印刷を「(社)やどかりの里 やどかり情報館(精神障害者福祉工場)」で担当させていただくことになりました。

やどかりの里は、精神障害(主に慢性の統合失調症)のある人たちが、地域で安心して暮らしていくための支援活動を行っています。やどかり情報館は、精神障害のある人たちが雇用契約を交わして働く場所です。

この機会に、介護の分野についても学習する機会となればと思います。同じさいたま市内で活動する者同士、何かと協力していけたら幸いです。

ご指導の程、よろしくお願いいたします。

やどかり出版 長谷川健一

報告

さいたま市介護支援専門員協会 行政交流会

平成19年3月19日
(月) 大宮区役所 旧議
場にて毎年恒例となっ
ております行政交流会
が開催されました。内
容も皆が今ひとつ不明
な部分があった「地域
支援センターの活動報
告」、「さいたま市に
おける指導監査のポ
イントについて」と我
々ケアマネージャーに
とって非常に興味深い
内容でもあり、議場を
埋めつくす多数の会
員の参加となりました。
最初にさ

いたま市介護保険課
中井様から地域包括
支援センターの運営
状況・活動報告に関
して資料をもとに説
明があり、今年度より
創設されたセンター
でもあり、事業も想
定通りに行かない部
分もあり、いかに地
域包括支援センター
が苦勞をして活動し
てきたかを理解する
ことができた。また
現状ではなかなか浸
透していない地域密
着型サービスの進
行状況についても

説明をいただきました。
次にさいたま市監査
指導課 中山様から平
成18年度の実地指導
の指摘事項に関して
細かく分かりやすく
説明をいただき、介
護保険制度のもと活
動している私たち
ケアマネージャーに
とって改めて運営基
準を満たすことは最
低限の基準であり、
それがいかに重要
な基準であるかを再
認識することができ
ました。皆様、今回
の資料は必

読し、きたる実地指
導(ちなみに監査では
ありません)の際には
慌てて徹夜続きにな
らないように事前の
準備を……さて3時
間という短い時間
でありましたが、ひ
じょうに中身の濃い
内容であり、零年度
以降もこういった研
修を協会役員の皆
様期待しています。
最後に協会役員・委
員の皆様、今年1年
、たいへんお疲れ様
でした。

コミュニケーション・スキル・アップ研修会

1 研修の目的と内容

コミュニケーション・スキルの研修については予てより、会員から開催の要望が聞かれていたが、この度、ヘルスカウンセリング学会認定心理カウンセラーの資格を有し、鹿領域従事者を主な対象として、コミュニケーションスキル・ストレスマネージメントの講演活動で実績のある講師をお招きすることでコミュニケーション・スキルの向上を目的とする講演および演習（グループワーク）を実施した。

2 参加者の反応

参加者との対話形式による講演。6人1組でのグループワーク・体験学習を通じて、コミュニケーション・スキルにおける基本姿勢、基本技術はもとより傾聴、確認、共感について体験をもつて学習することができた。特にグループワークでは意欲的に参加している様子が見受けられた。

3 今後の課題

個人的な意見ですが、コミュニケーションスキルについては講演・体験の如何に関わらず定期的な学習・体験・確認に意義があると思います。今後も全体研修、地区研修を問わず何らかの形態で実施することができればよいと思います。

役員は、研修の企画、準備、実施などすべてにおいて、それぞれの時間を都合し自主的に活動しております。研修等の折はご協力・ご配慮いただきませう、会員の皆様にはくれぐれもよろしくお願いいたします。



見沼区ケアマネサロン

平成18年12月13日（水）

第4回目は、さいたま市こころの健康センターの井上亮子氏（精神科医）をご招待し、「うつ病の知識や対応」についてご講義をいただきました。参加者16名、開催場所：敬寿園。

うつ病の理解を深めるために車のガソリンに例えたお話が印象的でした。

うつ病の発症過程で、車が方向転換・ギアチェンジ・低速から人が急に加速するとき、ガソリンの消費が激しくなります。人も同様に方向転換・価値観を変えなければならぬ時は、た

くさんのエネルギーを使います。無理しすぎて脳内のガソリンがガス欠（エネルギーの低下）状態になるとうつ病の発症につながります。

また、家族・支援者の対応で病者はガソリンが足りない状態（エンジンの空ぶかし）でも必死にがんばろうと焦っています。一緒に焦らない・せかさない・励まさないことが大切です。

とても分かりやすいお話で例え話や具体的事例を取り入れるなど、伝え方を工夫することも参考になりました。出席者から

の質問にも丁寧な回答で下さり、良いアドバイスもいただき参加者の反応もとても良かったと思います。仕事・日常生活において自分の価値観を変えなければならない時は、ガス欠にならないよう柔軟に考えることも大切だと感じました。



大宮区ケアマネサロン

平成19年1月22日

「デイサービスセンターしあわせみはし」にて、（株）大塚製薬 柴田喜久太郎氏を講師に迎えて「高齢者の脱水と経口保水」をテーマに講演していただきました。プロジェクター使用による分かりやすい説明や、薬局でしか売られていない補水製品の試飲会もあり、今後の業務に参考になる内容でした。

講演会後には、会場である「デイサービスセンターしあわせみはし」を見学する時間が設けられました。

中央区・桜区ケアマネサロン

平成19年2月3日

講師に、木もれ日居宅介護支援事業所 浅見 隆行氏をお迎えして、「記録」をテーマに中央区・桜区ケアマネサロンを開催いたしました。

記録・居宅介護支援事業所・法令順守という視点の話を対話形式で行っていただいたため、和やかな雰囲気の中となりました。

日頃、ケアマネ業務をしている方の講義でしたので、とても身近で参考になりました。参加された方々にとっては、記録に対する自覚を強く促す良い機会になったのではないかと思います。

北区ケアマネサロン

第1回 平成18年12月9日(土)

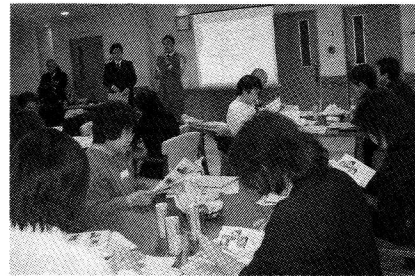
「在宅医療の今後の方向性 診療報酬改定を踏まえて」

今年度、初めてのケアマネサロンとして北区では「デイサービスセンターしらかば」にて会員24名が参加し講師に(株)テルモメディカルケア 高嶋 恒夫氏を迎えて「在宅医療の今後の方向性 診療報酬改定を踏まえて」と題して今後の医療制度の展開、また今後、課題になるであろう在宅の重度化を見据え医療と介護の連携に関して、講演していただきました。また在宅医療において実際に使用

されている機種に關しても分かりやすく説明があり、在宅医療との関わりが多くなつていくと予想される、我々、ケアマネージャーにとって心強い研修となりました。

講演後は懇親会も開催され、日々の多忙の業務を忘れ、一時的にはありま

すが穏やかに、和やかにそしてアットホームな雰囲気の中お酒を酌み交わしました。



緑区

平成18年11月22日(水)

「平成18年度改正の介護保険と緑区の状況について」

緑区では、介護支援専門員の意見交換や行政との連携を図る場として南部・北部地域包括支援センター主催による「介護支援専門員連絡会」が定期的に開催されています。

今回も、区役所高齢介護課のご担当者に参加していただき緑区役所2階会議室にて研修会が行われました。

始めに、地域包括支援センターの事務報告があり、

総合相談の内容として一番多い事例が「虐待」であることでした。成年後見の相談や困難事例について本人・家族とのかかわりが難しく拒否される事例が多いとの報告がありました。

特定高齢者把握事例では、本人への電話や訪問が拒否され、基本健康診査を受けない人が多いなどの現状が報告されました。

次に、介護支援専門員業務で苦悩する点などの意見交換が行われ、「主治医とのかかわり方」について：

では、医師会のマップを作っている区もあります。が、外来の終了する時間間際で電話をするのが一番スムーズではないかという意見がありました。

今後、地域包括支援センターでは、サービス事業者や医療機関の受け入れ状況を把握しやすくするため、マップ作りを計画して行きたいとの意見があり、他にも介護報酬Q&Aから具体的な事例を取り上げた説明などが行われ、法改正の内容を改めて確認することができ、参考になる意見なども多く伺えた研修会となりました。

浦和区ケアマネサロン

1月29日(月)

埼玉社会保険病院にて、第3回ケアマネサロンが開催されました。

今回のテーマ「在宅療養における医療管理」というテーマで、埼玉社会保険病院の訪問看護室WOC看護認定看護師の関根 まゆみ様を講師に迎えました。医療処置や管理が必要な利用者さんへの支援をみんなで勉強したいという事で、留置カテーテル・胃瘻・在宅中心静脈栄養法・在宅酸素療法・ストーマ・褥瘡の6

つの内容で講義が行われました。OHPを使って一つ一つ丁寧に説明をしてくださつたので、とてもわかりやすかつたという声が多く聞かれました。

ケアマネジャーが直接、医療処置を行うということはありませんが、在宅医療について知識を深めることはケアマネ業務には必要不可欠な事です。第2弾として、糖尿病などのテーマも考えています。

岩槻区ケアマネサロン

平成19年3月17日

日本コンチネンス協会の寺内淳子氏を講師にお招きして岩槻区のケアマネサロンを開催しました。

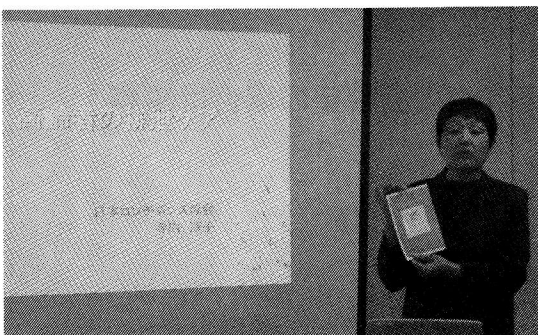
ました。

岩槻市は平成17年にさいたま市と合併したため、まだ、ケアマネ協会の会員が少なく、何人集まるか不安でしたが、他区の

講師の寺内氏には、高齢者の排泄ケアについてお話をうかがいました。排泄についての基礎知識、排尿障害の特徴、対処法などケアマネとして、役立つ情報ばかりでした。

有意義な時間を過ごすことができました。

寺内氏は明るく、元気いっぱい、参加者もパワーをいただきました。



西区ケアマネサロン

3月7日(水)

講演会「終末期医療について」
指扇病院副院長 日下部先生

身体に管をつないでおく延命の
みの終末期医療は本人・家族ど
ちらも苦痛・不幸を生じ、膨大な
医療費を使い、ひいては家庭崩
壊につながる。安楽死・尊厳死、
ほぼ同等の行為でありながら前

者は現在の日本では殺人となっ
てしまう。そのような事から、自
分が元気になるうちから、そうした

状態に陥ったときの意思を確認
できる書類を作成しておくこと
は意義のある事である。

また、高齢者の麻痺側の骨折・
壊疽の場合、手足があることで

逆に痛みが持続しているときは
切断という手段も、必ずしも辛
く非常な選択肢である場合はか
りではなく、苦しみから解放す
ることができるといふ講演をさ
れました。

日下部先生が救命救急セン
ターで勤務した経験を基に、「自
分が受けた医療」「自分の家族
に受けさせたい医療」「現実の医
療」を伝えたいという想いが伝
わってくる講演でした。

ぼのぼのさん

憎めないジツチャン！

記録的な暖冬…異常気象…いろいろ言わ
れています…四季なんぞいらぬ！1年
中、春がいい！と思っている者にとつて
は、寒いものは寒い！”つてな感じでござ
います…。そんな地中海性気候(?)を
希望している者でも心地よい天気が多くな
り、嬉しいのなんのつて☆

そんなある日の休日。アオツパナを垂ら
しているガキンチョを耳鼻科に連れていく
ことになった。渋滞と病院の待合時間を憎
む者としては、目指すは1番乗り！受付時
間より15分早く現地に到着！耳鼻科の外で
春風に煽られながら待つこと数分…

「大きい子だねえー 何ヶ月だい？」突然
70代半ば位のジツチャンに話しかけられた。
バカ親としては、ガキンチョの話題に弱い
(笑)しばし、話しこんでみた☆聞けば、
ウォーキングの途中だという！介護予防だ

なあと感心感心☆☆ 「また歩いてく
らあ！」とジツチャンが去つて数分後。い
よいよ、耳鼻科の門があくソノ瞬間！

「いやあ！どうもどうも！」さっきの
ジツチャンがやってきて、極めて自然体
に割り込んだ！頼まれた覚えもなければ、
許した覚えもない(怒)あれよあれよとい
う間に1番乗りの栄冠はジツチャンの手
に…

苛立つ気持ちを伝えるべくジツチャン
に話しかけようとした時、ジツチャンか
らガキンチョの話題を振られた。バカ親
としては、どんな時でもガキンチョの話
題に弱い(笑)本題に触れられぬまま、
ジツチャンは診察室に消えていった…

世の中にはいろんなジツチャンがいるも
んだなあ…それよりなにより、ウォーキ
ングはいいもんだ☆ これからも、続け
て欲しいなあ…でも

ジツチャン！割り込みは、続けない
でくださいーい…(泣)

事務局より

1. 平成19年度会費納入について

当協会の運営は会員様の会費によって運営されております。
未納の方は大至急下記口座にお振り込み下さい。

郵便局口座 口座番号 10320 番号 76599611

加入者名 さいたま市介護支援専門員協会

※ 事業所名で振り込んだ場合、堂事務所に複数の会員がいる場合特定できませんので会員名で振
り込んでください。事業所名で振り込んでしまった場合は、振込日、事業所名・会員名を事務
局までご連絡下さい。

2. 会員の住所・事業所等登録事項に変更があった場合や入会希望の場合は事務局 までご連絡下さい。

さいたま市介護支援専門員協会 事務局 野崎・西間木

(財)さいたま市在宅ケアサービス公社内

電話番号 048-645-7470

FAX 048-645-7500

ホームページ

<http://www.saitamashi-keamane.jp>